

中国放送

活動名	R C Cアナウンサー 読み聞かせ
実施期間	令和7年7月14日
実施回数	1クラスずつ3回実施

【事業実施の成果・課題】

<成果>

① 郷土学習の促進と地域愛の醸成

創作童話「広島編」を題材とすることで、子どもたちは物語の世界に浸りながら、マルが巡る広島の具体的な場所や歴史、文化に触れることができた。これは、座学ではない「生きた郷土学習」として機能し、子どもたちが身近な地域に対する興味や愛着を深める大きなきっかけとなった。

② 対面による「言葉の力」の最大限の発揮

アナウンサーの豊かな表現力や声色の変化、間の取り方は、子どもたちの想像力を刺激し、物語の世界に深く引き込んだ。また、物語の展開に合わせて笑い声が起きたり、真剣な表情になったりと、ダイレクトな反応を得られたことで、読み聞かせが一方的なものではなく、会場全体で創り上げる立体的で温かい体験となった。

③ キャリア教育および表現教育としての側面

読み聞かせと職業講話が一体となることで、子どもたちはアナウンサーという仕事への興味を深め、将来の職業観を養う貴重な機会を得た。特に、プロの技術を間近で体験したことは、子どもたちの音読や発表に対する意識を向上させ、「大きな声を出すことの爽快感」「人に伝えることの大切さ」を実感する教育的な成果も確認された。

<課題>

対応リソースと他地域への展開

本事業の実施は学校側から非常に高い評価を得ており、他学年や他地域からも同様の機会を望む声が予想される。しかし、アナウンサーの通常業務との兼ね合いや、移動を含めた時間的な制約により、要望全てに応じることは難しい。今後は、より多くの児童・生徒に機会を提供するため、アナウンサーの事業参加体制の更なる多様化と、読み聞かせコンテンツの映像配信等による展開も視野に入れる必要がある。

【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

＜事業担当者の感想＞

今回のイベントは、地元紙と連携し、地域に根差した創作童話を活用するという、地域密着の放送局として理想的な形での社会貢献活動となりました。アナウンサーの読み聞かせと主人公マル（きぐるみ）の登場が相乗効果を生み、子どもたちの集中力が途切れることなく、終始笑顔あふれる空間を創り出すことができました。子どもたちの輝く瞳を見たとき、この事業の意義を改めて深く実感し、地域に愛される放送局としての責務と喜びを感じています。

＜田村友里アナウンサーの感想＞

小説の読み聞かせは、視覚情報が限られる分、読み手の表現力や「間」の使い方が最も問われる真剣勝負です。舟入小学校の5年生は、物語が進むにつれて表情が変わり、マルと一緒に広島風景を想像している様子が伝わってきました。普段の放送では得られない、「言葉が届いている」という生々しい手応えがあり、伝える技術を深く見つめ直す貴重な機会となりました。

また、子どもたちが、物語の広島の地名や歴史に反応してくれたとき、地域の文化を伝えるという、私たちの仕事のもう一つの大切な側面を実感しました。会の終了後に「アナウンサーになりたい」と話しかけてくれた児童の存在は、大きな励みとなりました。

子どもたちの素直でエネルギッシュな反応から、こちらが多くの元気と活力をいただいたと感じています。

【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

＜教諭の感想＞

- ・子どもたちの目が輝いていたことが、何よりの成果だと感じています。プロのアナウンサーによる情感豊かな朗読は、普段の授業では体験できない臨場感を生み出し、子どもたちは物語の世界に完全に引き込まれていました。
- ・今回の企画は、単なる読書推進活動に留まらず、「キャリア教育」の観点からも大変意義深いものでした。アナウンサーという職業を身近に感じることで、言葉を扱う仕事、人に伝える仕事への関心を高め、自分の将来や「働く」ことについて考える貴重なきっかけになったと思います。
- ・プロの方による読み聞かせは、子どもたちの心に残るかけがえのない思い出となりました。この特別な体験は、子どもたちの表現への意欲や、地域への関心という形で、将来にわたって大きな影響を与えるものと思っています。
- ・声の緩急や感情表現など、読み聞かせの技術は教員にとっても大変勉強になり、今後の授業での音読指導の参考にさせていただきます。

＜子どもたちの感想＞

- ・アナウンサーさんの声がすごくきれいで、物語の中に入ったみたいな気持ちになりました！マルが広島の色んな場所に行くのが面白かったので、私も行ってみたいです。
- ・いろんな声が出せるのがすごいと思いました。特にマルの声と、意地悪な人の声が変わるところが楽

しかかったです。私も音読の時に、もっと工夫して読んでみたいです。

- ・マルのきぐるみが可愛くて、物語をもっと好きになりました。アナウンサーの仕事にすごく興味を持ったので、将来テレビ局で働いてみたいと思いました！